



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社Q L Sホールディングス 上場取引所 名
コード番号 7075 URL https://www.qlshd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雨田 武史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役C F O管理本部長 (氏名) 豊田 尚孝 TEL 06(6575)9845
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,360	20.8	409	20.8	404	18.6	228	△0.2
2023年3月期	6,923	22.8	339	69.4	340	143.7	229	—

(注) 包括利益 2024年3月期 228百万円 (△0.2%) 2023年3月期 229百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	105.51	98.45	24.3	10.0	4.9
2023年3月期	113.85	—	35.1	8.0	4.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,288	1,117	26.0	504.41
2023年3月期	3,768	768	20.4	381.61

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,117百万円 2023年3月期 768百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	505	△211	△92	1,317
2023年3月期	1,563	△183	△1,245	1,115

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	44	19.0	4.5
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00		12.6	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,710	16.1	520	26.9	520	28.7	385	68.7	174.27

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）株式会社和み

（注）詳細は、添付資料P. 10「3. 連結財務諸表及び主な注記」（5）連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	2,214,560株	2023年3月期	2,014,560株
2024年3月期	－株	2023年3月期	－株
2024年3月期	2,168,406株	2023年3月期	2,014,560株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、景気の緩やかな回復傾向が見られましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や円安による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、保育事業においては天下茶屋保育園の運営が始まったこと等により、売上高は5,194,544千円（前年同期比8.1%増）となり、セグメント利益は963,927千円（前年同期比14.1%増）となりました。

介護福祉事業においては、訪問介護を行うなないろケアセンター白金の運営が始まり、既存の居宅介護支援や訪問介護、放課後等デイサービスが堅調に推移したものの、2023年8月に株式取得により子会社化した株式会社和みの新体制構築に係る費用、また、同11月に事業譲受した沖縄県の障がい者グループホーム事業に係る賃貸借契約の切り替えといった初期費用等の一時的な増加により、売上高は1,467,683千円（前年同期比47.2%増）となり、セグメント利益は11,474千円（前年同期比70.7%減）となりました。

人材派遣事業においては、主力である大手自動車メーカーへの派遣業務が新型コロナウイルスの影響による低迷から抜け出し、売上高は1,326,865千円（前年同期比60.7%増）となり、セグメント利益は121,242千円（前年同期比225.5%増）となりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は8,360,345千円（前年同期比20.8%増）、営業利益は409,965千円（前年同期比20.8%増）、経常利益は404,240千円（前年同期比18.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は228,796千円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度の総資産は、前連結会計年度末に比べ519,489千円増加し、4,288,195千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ573,802千円増加し、2,749,766千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加204,388千円、売掛金の増加248,774千円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ54,313千円減少し、1,538,429千円となりました。これは主に、繰延消費税額等の減少71,495千円によるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度末に比べ171,092千円増加し、3,171,012千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ451,671千円増加し、1,890,861千円となりました。これは主に、未払金の増加212,032千円、短期借入金の増加200,000千円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ280,579千円減少し、1,280,151千円となりました。これは主に、長期借入金の減少429,790千円によるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度の純資産は、前連結会計年度末に比べ348,396千円増加し、1,117,182千円となりました。これは2023年6月26日付での名古屋証券取引所ネクスト市場への上場に伴い有償一般募集（ブックビルディング方式）による新株式の発行200,000株を実施し、資本金及び資本剰余金がそれぞれ59,800千円増加したことに加え親会社株主に帰属する当期純利益228,796千円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ201,636千円増加し、1,317,400千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、505,691千円の収入（前年同期は1,563,304千円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益348,349千円、未払金の増加による収入194,225千円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額186,161千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、211,472千円の支出（前年同期は183,946千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出91,303千円、有価証券取得による支出50,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入200,000千円、社債の発行による収入200,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出711,463千円、社債の償還による支出90,000千円により92,583千円の支出（前年同期は1,245,697千円の支出）となりました。

（4）今後の見通し

内外経済は、ロシア・ウクライナ情勢に伴う資源価格高騰、世界的なインフレの進行と、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高9,710,460千円（前年同期比16.1%増）、営業利益520,169千円（前年同期比26.9%増）、経常利益520,075千円（前年同期比28.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益385,929千円（前年同期比68.7%増）を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,226,491	1,430,880
受取手形	671	1,402
売掛金	852,536	1,101,310
有価証券	—	50,000
貯蔵品	1,170	—
未収入金	4,716	1,291
関係会社貸付金	—	60,000
その他	90,377	104,881
流動資産合計	2,175,963	2,749,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	763,147	769,445
減価償却累計額	△305,073	△347,754
建物及び構築物 (純額)	458,074	421,690
車両運搬具	7,404	11,793
減価償却累計額	△5,793	△10,228
車両運搬具 (純額)	1,611	1,564
工具、器具及び備品	18,456	38,695
減価償却累計額	△12,123	△19,535
工具、器具及び備品 (純額)	6,332	19,159
土地	464,383	464,383
有形固定資産合計	930,402	906,798
無形固定資産		
のれん	9,859	16,167
ソフトウェア	4,663	4,571
その他	254	327
無形固定資産合計	14,777	21,067
投資その他の資産		
関係会社株式	—	10,000
繰延税金資産	229,916	228,091
繰延消費税額等	196,772	125,276
その他	220,873	247,195
投資その他の資産合計	647,563	610,563
固定資産合計	1,592,742	1,538,429
資産合計	3,768,706	4,288,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,007	28,699
短期借入金	—	200,000
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	562,890	481,217
未払金	384,380	596,412
未払法人税等	43,693	91,208
賞与引当金	173,295	178,275
その他	161,923	225,048
流動負債合計	1,439,189	1,890,861
固定負債		
社債	60,000	170,000
長期借入金	1,438,551	1,008,761
退職給付に係る負債	21,867	25,386
資産除去債務	—	37,865
その他	40,312	38,138
固定負債合計	1,560,730	1,280,151
負債合計	2,999,920	3,171,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	89,800
資本剰余金	234,066	293,866
利益剰余金	504,584	733,381
株主資本合計	768,651	1,117,047
新株予約権	134	134
純資産合計	768,786	1,117,182
負債純資産合計	3,768,706	4,288,195

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,923,241	8,360,345
売上原価	5,782,594	7,016,154
売上総利益	1,140,647	1,344,191
販売費及び一般管理費	801,367	934,225
営業利益	339,279	409,965
営業外収益		
受取利息	57	20
受取配当金	11	6
補助金収入	46,084	11,776
その他	6,547	5,419
営業外収益合計	52,700	17,222
営業外費用		
支払利息	24,693	17,411
支払手数料	1,384	3,781
開園前費用	25,197	—
その他	—	1,755
営業外費用合計	51,274	22,948
経常利益	340,705	404,240
特別利益		
整備補助金収入	193,106	—
特別利益合計	193,106	—
特別損失		
固定資産圧縮損	189,476	—
固定資産除却損	124	—
減損損失	—	55,890
特別損失合計	189,600	55,890
税金等調整前当期純利益	344,211	348,349
法人税、住民税及び事業税	90,997	117,727
法人税等調整額	23,860	1,825
法人税等合計	114,858	119,553
当期純利益	229,353	228,796
親会社株主に帰属する当期純利益	229,353	228,796

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	229,353	228,796
包括利益	229,353	228,796
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	229,353	228,796
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	30,000	234,066	275,231	539,297	—	539,297
当期変動額						
新株の発行						
親会社株主に帰属する当期純利益			229,353	229,353		229,353
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					134	134
当期変動額合計	—	—	229,353	229,353	134	229,488
当期末残高	30,000	234,066	504,584	768,651	134	768,786

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
当期首残高	30,000	234,066	504,584	768,651	134	768,786
当期変動額						
新株の発行	59,800	59,800		119,600		119,600
親会社株主に帰属する当期純利益			228,796	228,796		228,796
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	59,800	59,800	228,796	348,396	—	348,396
当期末残高	89,800	293,866	733,381	1,117,047	134	1,117,182

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	344,211	348,349
減価償却費	41,459	46,476
のれん償却額	5,520	6,135
固定資産圧縮損	189,476	—
固定資産除却損	124	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,968	4,980
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,753	3,518
整備補助金収入	△193,106	—
減損損失	—	55,890
受取利息及び受取配当金	△68	△26
支払利息	24,693	17,411
売上債権の増減額 (△は増加)	△217,422	△186,161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	—	1,170
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,030	5,691
未収入金の増減額 (△は増加)	103,983	5,597
未払金の増減額 (△は減少)	70,255	194,225
預り金の増減額 (△は減少)	—	63
その他	6,238	109,675
小計	398,118	612,997
利息及び配当金の受取額	58	22
利息の支払額	△24,693	△17,411
法人税等の支払額	△74,079	△89,916
整備補助金の受取額	1,258,202	—
解約返戻金の受取額	5,698	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563,304	505,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,802	△3,352
定期預金の払戻による収入	35,401	600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△91,303
非連結子会社株式の取得による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△202,403	△36,974
有価証券の取得による支出	—	△50,000
その他	△12,141	△20,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,946	△211,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	476,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△1,910,695	—
長期借入れによる収入	1,071,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△792,002	△711,463
短期貸付金の回収による収入	—	49,280
社債の発行による収入	—	200,000
社債の償還による支出	△90,000	△90,000
非連結子会社への貸付による支出	—	△60,000
株式の発行による収入	—	119,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,245,697	△92,583
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133,660	201,636
現金及び現金同等物の期首残高	982,102	1,115,763
現金及び現金同等物の期末残高	1,115,763	1,317,400

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計年度末の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年6月26日に名古屋証券取引所ネクスト市場に上場いたしました。この上場にあたり、2023年6月26日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）による新株式の発行200,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ59,800千円増加しております。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、2023年8月31日付で株式取得を行ったため、株式会社和みを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、各事業会社が運営している施設や事業所が提供しているサービスの類似性を考慮したセグメントから構成されており、「保育事業」、「介護福祉事業」及び「人材派遣事業」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	保育事業	介護福祉 事業	人材派遣 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,804,327	996,817	825,788	6,626,933	296,308	6,923,241	—	6,923,241
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	4,804,327	996,817	825,788	6,626,933	296,308	6,923,241	—	6,923,241
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	3,593	3,593	—	3,593	△3,593	—
計	4,804,327	996,817	829,382	6,630,527	296,308	6,926,835	△3,593	6,923,241
セグメント利益	845,131	39,189	37,245	921,566	16,253	937,819	△598,540	339,279
セグメント資産	2,258,794	287,311	166,550	2,712,656	61,006	2,773,662	995,044	3,768,706
その他の項目								
減価償却費	37,307	2,998	478	40,785	—	40,785	673	41,459
のれん償却額	—	4,726	—	4,726	794	5,520	—	5,520
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	12,693	545	439	13,678	744	14,422	—	14,422

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△598,540千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△598,540千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額995,044千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産995,044千円であり、全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	保育事業	介護福祉 事業	人材派遣 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	5,194,544	1,467,683	1,326,865	7,989,092	371,253	8,360,345	—	8,360,345
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	5,194,544	1,467,683	1,326,865	7,989,092	371,253	8,360,345	—	8,360,345
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,194,544	1,467,683	1,326,865	7,989,092	371,253	8,360,345	—	8,360,345
セグメント利益	963,927	11,474	121,242	1,096,644	22,901	1,119,546	△709,580	409,965
セグメント資産	2,359,615	482,128	296,667	3,138,410	90,729	3,229,139	1,058,955	4,288,095
その他の項目								
減価償却費	37,703	5,973	258	43,935	1,491	45,426	1,049	46,476
減損損失	44,747	11,142	—	55,890	—	55,890	—	55,890
のれん償却額	—	5,539	—	5,539	595	6,135	—	6,135
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	54,411	8,710	—	63,122	12,770	75,892	—	75,892

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△709,580千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△709,580千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額1,058,955千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産1,058,955千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。
4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	381円61銭	504円41銭
1株当たり当期純利益	113円85銭	105円51銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	98円45銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式の売買実績が無く期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	229,353	228,796
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	229,353	228,796
普通株式の期中平均株式数(株)	2,014,560	2,168,406
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数	—	155,594
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2022年3月30日開催の株主総会決議による第1回新株予約権 新株予約権の数 1,432個 (普通株式 143,200株) 2022年3月14日開催の取締役会決議による第2回新株予約権 新株予約権の数 1,568個 (普通株式 156,800株)	—

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は、2024年4月30日開催の取締役会において、A I A I グループ株式会社（コード番号6557）の連結子会社であるAIAI Life Care株式会社の全株式について当社グループが取得することに関する基本合意書の締結を決議いたしました。

なお、株式譲渡契約については未締結であり、諸条件についても協議中であります。

1. 企業結合を行う主な理由

当社グループは、「Quality of Life 全ての人に質の高い生活を!!」を会社の企業理念としており、保育事業、介護福祉事業、人材派遣事業を営んでいます。現状は保育事業を主軸としていますが、今後の戦略として、介護福祉事業、人材派遣事業を保育事業以上に拡大させ、保育事業に依存しない強い経営体制を構築していきます。

本株式取得についても、当社グループの今後の事業拡大につながると判断しました。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	AIAI Life Care 株式会社		
(2) 所在地	東京都墨田区錦糸一丁目2番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 貞松 成		
(4) 事業内容	サービス付き高齢者住宅の運営、住宅型有料老人ホームの運営、訪問介護の運営、生活介護の運営		
(5) 資本金	2百万円		
(6) 設立年月日	2015年9月18日		
(7) 大株主及び議決権比率	A I A I グループ株式会社 100%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 最近3年間の財政状態及び経営成績			
決算期	2020年12月期	2022年3月期 (15か月決算)	2023年3月期
純資産	2百万円	△17百万円	△43百万円
総資産	465百万円	515百万円	284百万円
1株当たり純資産	11,710.35円	△89,311.18円	△218,162.23円
売上高	336百万円	487百万円	432百万円
営業利益	△25百万円	△36百万円	△29百万円
経常利益	△24百万円	△30百万円	△17百万円
当期純利益	△22百万円	△20百万円	△25百万円
1株当たり当期純利益	△114,435.18円	△101,021.60円	△128,851.05円
1株当たり配当額	0.00円	0.00円	0.00円

2024年3月期においても純資産は負となる見込みですが、AIAI Life Care 株式会社は、株式譲渡実行日までにA I A I グループ株式会社に対して新株を発行し、払込金額をもって同社からの借入金を返済することにより、株式譲渡実行日において純資産は55百万円程度となる見込みであります。

また、株式取得後の AIAI Life Care 株式会社の2025年3月期以降における営業利益は年間16百万円程度となる見込みであります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	A I A I グループ株式会社	
(2) 所在地	東京都墨田区錦糸一丁目2番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 貞松 成	
(4) 事業内容	保育事業、介護福祉事業	
(5) 資本金	20百万円 (2023年9月30日現在)	
(6) 設立年月日	2007年1月22日	
(7) 連結純資産	1,379百万円 (2023年9月30日現在)	
(8) 連結総資産	11,382百万円 (2023年9月30日現在)	
(9) 大株主及び議決権比率 (2023年9月30日現在)	株式会社アニヴェルセル HOLDINGS (34.63%) 貞松 成 (16.30%) social investment 株式会社 (10.24%)	
(10) 当社と当該会社との 間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には記載すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当 状況	当該会社は当社の関連当事者には該当いたしません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権所有割合0%)
(2) 取得株式数	200株 (予定している新株の発行を除く)
(3) 異動後の所有株式数	200株 (予定している新株の発行を除く) (議決権所有割合：予定している新株の発行を含め100%)

(注) 取得価額につきましては、現時点では未定であります。

5. 株式取得の時期

(1) 取締役会決議日	2024年4月30日
(2) 基本合意書締結日	2024年4月30日
(3) 最終契約締結日	2024年5月下旬頃
(4) 株式譲渡実行日	2024年5月31日

6. 今後の見通し

2025年3月期については、AIAI Life Care 株式会社は非連結子会社として当社グループに加わることとなりますが、2026年3月期からの連結子会社化を予定しております。

7. 当社業績に与える影響

本件による2025年3月期の通期業績に与える影響は軽微であります。